

製品名: サイトケラチン 1 (1G12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09717**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	66kDa

抗原情報

遺伝子名	KRT1
別名	67 kDa cytokeratin; CK1; EHK; Epidermolytic hyperkeratosis 1; EPPK; Hair alpha protein; K1; Keratin; KRT 1; KRT1A; NEPPK; type II cytoskeletal 1; Type-II keratin Kb1;
遺伝子 ID	3848.0
SwissProt ID	P04264
免疫原	ヒトサイトケラチン 1 の合成ペプチド

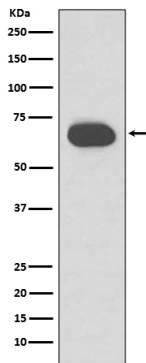
背景

インテグリン $\beta 1$ (ITB1) および活性化プロテイン C キナーゼ 1 受容体 (RACK1) への結合を介して、PKC や SRC などのキナーゼの活性を制御する可能性がある。インテグリン $\beta 1$ (ITB1) および活性化プロテイン C キナーゼ 1 受容体 (RACK1) への結合を介して、PKC や SRC などのキナーゼの活性を制御する可能性がある。C1QBP と複合体を形成することで、キニノーゲン 1/HMWK に対する高親和性受容体となる。

研究分野

-

画像データ



ヒト皮膚溶解物中のサイトケラチン 1 発現のウェスタン ブロット分析。